

水道局 平成23年度局運営方針

1 基本方針

本市の水道事業は、老朽施設の大規模更新や災害などに対する耐震強化とその財源確保、更には、料金収入の伸び悩みに対応した経営改革やサービス水準の向上など、様々な課題を抱えています。

このような事情から、現行料金を維持しつつ、より一層の経営基盤の強化を図るため、「中期経営計画(平成23～27年度)」を策定し、これまでに見直してきた既存事業の再構築を行うとともに、特に、総合振興計画の中で、水道局の主要事業として位置づけている「上水道施設整備事業」を着実に推進します。

2 主な取組

重要なライフラインとしての効率的かつ安定的な給水の確保を図るため、老朽化した水道管や上水道の基幹施設である浄水場及び配水場の更新・改良、耐震化を計画的に行います。

特に、水道施設整備事業のうち、老朽管更新事業については、昭和40年代に大量に布設された配水管が、今後、法定耐用年数を迎えることから、財政状況とのバランスを勘案しつつ、重点的に取り組んでいきます。

・水道施設整備事業

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 地下水源整備事業 | (4) 配水支管整備事業 |
| (2) 拠点施設整備事業 | (5) 老朽管更新事業 |
| (3) 配水ブロック整備事業 | (6) 耐震化事業 |

3 行財政改革への取組

(1) 計画的な施設整備の推進

今後、水需要の増加が期待できない一方で、施設整備事業には多額の財政需要が見込まれることから、中長期的な財政収支見通しに基づく計画的な施設整備を推進していきます。

特に、事業の財政基盤を長期的に安定させるため、借入金である企業債の残高縮減に努め将来の金利負担の軽減を図ることで、更なる事業経営の健全化に努めます。

4 水道局予算額

<企業会計(水道事業会計)>

(単位：千円)

平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	増減
44,436,901	44,402,180	34,721

5 水道局主要事業

(単位：千円)

	事業名(予算の事務事業名) 事業の概要	所属	予算額
1	上水道施設整備事業 重要なライフラインとしての効率的かつ安定給水を確保するため、老朽水道管の更新工事等を中心とした水道施設整備を計画的に推進します。	水道計画課	7,485,229